

静観台グループ例会

於：サイエンスフィールド 2004. 01. 28

参加者 高松（仁美小） 福井（伊島小）

【人間電卓】 福井

ここに数字が縦に6つ書かれた短冊があります。右に12枚の短冊を例として載せていますが、短冊は何枚でも作れます。さて、これらを切り離して好きなものをいくつか選び、好きな順序で横に並べます。すると〇ケタ6段の計算問題ができます。例えば左下のは4ケタ6段で、人間電卓になれば、見た途端に合計37480だと分かります。同様に右下のは5ケタ6段で合計337844です。伊島小学校には岡山県を代表する様なそろばんの名人がいるのですが、その人と勝負しても同じ位のスピードで答えることができました。もちろんタネはあります。さて、どうやるか分かりますか？ 上の12枚の短冊はわざとタネが分かりやすいように並べています。福井学級の6年生の子供の一人はこの表を手がかりにやり方を見抜きました。

8	2	7	9	4	5	6	1	6	7	9	4	7	4
9	8	2	5	6	4	3	7	2	4	8	7	6	3
2	7	5	4	9	1	8	6	9	5	2	8	9	7
4	1	9	3	6	8	7	4	1	6	1	5	3	6
3	4	5	6	7	8	9	3	4	5	6	7	8	9
4	9	4	6	2	9	3	9	9	5	7	3	2	7

4	6	5	8
7	2	4	9
8	9	1	2
5	1	8	4
7	4	8	3
3	9	9	4

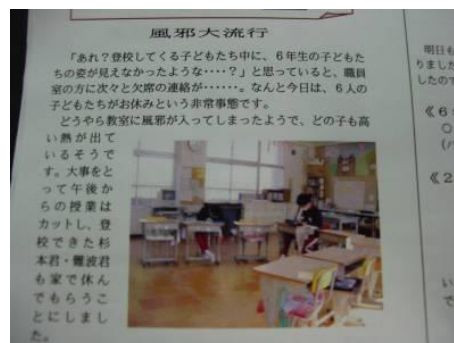
8	4	5	6	4
9	6	4	2	7
2	9	1	9	8
4	6	8	1	5
3	7	8	4	7
4	2	9	9	3

【風邪大流行】 高松

高松先生の学級で風邪が大流行しています。もともと8人のクラスで6人が欠席したのですから、教室は寂しいものです。ところがそのうちの5人がたまたま病院で鉢合わせ。教室よりも病院の待合室の方が賑やかになったというのですから皮肉なものですね。卒業に向けての追い込みの時期に大変ですね。

【読み聞かせにパソコンを】 高松

高松先生の学校では全校児童を集めて読み聞かせをする会が定期的に開かれているそうです。今回は高松先生の番だったので、パソコンと液晶プロジェクターを使っての読み聞かせをされました。福音館書店の『ふゆめがっしょうだん』という写真絵本をスキャナーで取り込み、パワーポイントで編集しています。単に拡大されて見やすくなるだけでなく、吹き出しに言葉を入れて、まるで冬芽が話しているように演出していたり、「パッパッパッパッ」という言葉が次々に出たりと工夫されています。最後には高松先生が自分で撮った冬芽の写真も登場し、子供達に発展的な活動への意欲を呼び起こすような工夫もなされています。次は子供達による『ふゆめがっしょうだんⅡ』ができるかも…！？ こんな教材が蓄積されていくといいですね。



【紫キャベツフィルム】 高松

以前にも紹介しました「紫キャベツフィルム（紫キャベツの煮出し液をフィルム状にしたもの。試験管に入れ水溶液を注げば酸・アルカリの指示薬になる）」ですが、1年以上経っても効果に変わりはないそうです。画期的な発明ですね。今回は2人例会だったので、福井が全部頂きました。ラッキー！！

